

coop

兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2024 **1**



株式会社ハートコープいずみ 堆肥化工程見学の様子↑

↓株式会社いずみエコロジーファーム内 ハウス栽培 見学の様子



兵庫 JCC では、協同組合研究・交流会として、県内の協同組合の施設を見学し、学び合う取り組みを2008年から開催しています。JCC 設立40周年の今年度は、大阪いずみ市民生活協同組合の特例子会社の株式会社ハートコープいずみ、農業生産法人株式会社いずみエコロジーファームを訪ね、農福連携と循環型農業の取り組みについて学習しました。また、大阪いずみ市民生協の新店（コープ野々井店）も見学しました。（詳細は2月号にて掲載）



兵庫県生活協同組合連合会
会長理事

岩山 利久

(いわやま・としひさ)

前向き

2024年、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、会員並びに関係団体の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。2020年に日本に上陸した新型コロナウイルスは、3年が経過した2023年5月に5類感染症に移行し、平穏な日常への出口が見え始めました。しかし、インフルエンザの流行や医師から処方される薬の不足などで、私たちの安心が脅かされる状況が続いていると言っても過言ではありません。引き続き、健康維持への留意は必要です。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻や中東問題は、いまだに和平に向けた道筋は見えません。国内を見ても、物価高騰や人手不足、貧困や格差の問題など解決の方向性が見えない課題が山積しています。暗いニュースばかりが目につきますが、プロ野球では阪神タイガースが18年ぶりにセリーグ優勝、38年ぶりに日本一に輝きました。オリックスとの日本シリーズ「関西ダービー」は、多くの人の関心を集め多く

の人を元気にしました。今、多くの人の気持ちは「前向き」になっているのではないのでしょうか。

今年の干支は「辰」です。辰年は多くの国家プロジェクトがスタートした「年」でもあります。1964年東海道新幹線開業、1988年瀬戸大橋開業、2012年東京スカイツリー開業などです。辰年は準備したことが実を結ぶ「年」とも言われています。昨年の新年の挨拶では、行動を変える考え方を考えるなど、小さな変化を繰り返す「変化の常態化」について触れました。変化が常態化することにより昨年準備してきたことが花開くのは、辰年の今年だと考えます。そのためキーワードは「前向き」です。良い一年になるように「前向き」に頑張りましょう。

最後になりますが、今年も会員の皆さま関係団体の皆さまと共に、兵庫県下の協同組合の発展に向け努力してまいりますので、引き続き温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

CONTENTS

2. 想点

3. 会員生協・団体：今年の抱負

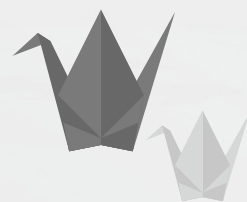
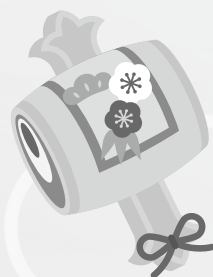
13. 会員生協・団体：今年の抱負／
第4回理事会 開催報告

14. 協同組合のかけ橋

15. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

16. フェニックス共済 お知らせ／県連行事予定／編集後記

2024年 今年の抱負



思いやりの心を大切に



生活協同組合コープこうべ
常務理事

多村 孝子
(たむら・たかこ)

あけましておめでとうございます。

昨年ウクライナ侵攻がおさまらない中、新たな紛争も起こり心痛む一年となりました。国際講座でウクライナの子どものメッセージを聞きました。「まさか自分の近くでこんなことが起こるとは。遠い国の話と思っていた。」「戦争は怖い、敵の人にも同じ思いをしてほしくない。まさか…」と思っていた現実を受け止め、敵にも同じ辛い思いをしてほしくない…。凜としたこのメッセージがとても胸に残りました。相手のことを思いやる心があれば…戦争なんて起こらない…。

私たちのくらしの中では、相手のことを思いやる心があれば解決することがたくさんあると思います。日本では不登校のことも30万人を超え、144万人がひきこもりとなっているとお聞きました。生きづらさを抱えている人たちにとって外の世界は恐怖なのかもしれません。職場や学校に行けないのなら、行ける別の場所に行けたらよい。多様性を認め合うやさしい社会になっていかなくては…と思います。

コープこうべでは、つどい場や居場所づくり、障がいをお持ちの方の活躍の場づくりを進めています。相手を思いやる心を大切に今年も取り組んでいきたいと思えます。

協同組合が活発な 地域づくりをめざして



生活クラブ生活協同組合
都市生活
専務理事

山本 晋也
(やまもと・しんや)

新年あけましておめでとうございます。

アフターコロナの時代に切り替わり、当生協でも生協活動が再び活発になりました。10月に開催した「第30回生活クラブ生協祭あいたくて」は4年ぶりとは思えない盛況ぶり、久々の再会で笑顔に満ちた一日でした。コロナ禍で定番となったオンラインを活用しつつ、直接対面する機会を増やしたことで、幅広い取り組みができた一年だったと感じています。さて、私どもの生協では第三次中期計画を策定しました。基本方針を「つながるローカルSDGs」つくる、つかう、食べる、手渡す」とし、兵庫の地域でローカルSDGsを実践する、組合員と市民が参加した活動を創り、人と人がつながる暮らしやすい地域社会をつくる、と方針を掲げました。

私たちは地域の一員という認識を持ち、組合員同士のつながりや提携生産者、地域のさまざまな人や団体と手を取りあいながら、それぞれが併せ持つ力の協働をもって市民が主体となる地域社会をつくっていきます。協同組合が活発な兵庫に暮らしたい、そう思ってもらえるよう、役員が一致団結して努力してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



生活協同組合
コープ自然派兵庫
理事長

正橋 裕美子
(まさはし・ゆみこ)

選ぶことで未来をかえる

あけましておめでとうございます。

このタイトルはコープ自然派兵庫第5次中期計画のスローガンです。今年是最終年でまよめの年です。私たちは食べるものをはじめ、日々何事も選択をして暮らしています。そのことは地域のくらしや経済、環境はもちろんのこと世界にもつながっています。できるだけ近くの生産物を選ぶことで、地域の農家を応援し、顔の見える関係がつけられます。基本的なことですが、作り手と消費者がつながっていくことが今一番大事なことではないか、と思います。そのことは未来の子どもたちが食べていくこと、生きていくことにつながっていきます。食だけでなく、エネルギーや木材、銀行や保険、そして政治家も私たちは選ぶ責任があります。またプラスチックを使わないなどちょっとした事も積み重なっていきます。一人の力は微力でも合わせていけば大きな力となる、組織も同じだと思います。

今地域の力が求められています。私たち協同組合の出番ではないでしょうか。お互い知恵を出し合いながら、連携を深め、平和な世界、子どもたちが希望を持てる社会を目指し、ともに行動してまいります。

今年もどうぞよろしく願いいたします。



生活協同組合連合会
コープ自然派事業連合
代表理事 理事長

岸 健二
(きし・けんじ)

日本国憲法と生協運動

イスラエルのパレスチナ・ガザ地区攻撃は、多くの人命を奪い、改めて平和の尊さを考えさせられる機会となりました。日本国憲法前文に平和的生存権を掲げる日本こそが、世界に向けて停戦を呼びかけなければならなかったはずなのに、国連総会での「人道的休戦」を要求する決議案に「棄権」という姿勢を示したことは非常に残念でした。

日本国憲法が国家権力を制限することによって、自由・平等・平和・人権・民主主義は、保障されています。戦前、国家権力の介入により多くの市民活動が制限され、日本の民主主義は大きく後退することになりました。私たちは生協の父・賀川豊彦の「友愛・互助・平和」の精神と、運動の中で勝ち取ってきた権利の数々をいま一度思い返す必要があります。

コープ自然派の2030年ビジョン「PAF2030」でも、コープ自然派から国産オーガニックを拡げ、日本のオーガニック市場をつくることを掲げています。日本は豊かな森・川・海の自然循環を有しています。私たちは食べることで、日本の農業を守り、地域の自然環境や生きものを育み、食文化を継承しています。その共感の輪を広げていきたいと思えます。

今年もよろしく願いいたします。



西宮市職員生活協同組合
事務局長

山田 博貴
(やまだ・ひろたか)

新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

当生協は、兵庫県下唯一の市役所生協として、組合員である西宮市職員への福利厚生のため、サービスの提供に努めています。

当生協におきましても、令和4年度から5年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の大規模な流行が続いた影響を受け、厳しい運営に努めてまいりました。

令和4年度につきましては、大口の注文があったことで書籍の供給高は増となったものの、令和3年度に市政ニュースで大規模な広告をしたことにより大幅増となった緊急告知ラジオの供給高が、反動で大幅に減したこと、また、例年好評であった柑橘類が不作により、あっせんできなかったこと等により、全体として前年比で供給高は減となりました。

令和5年度につきましては、大口の注文があったことで書籍の供給高は増となったものの、市キャラクターの「みゃたん」がデザインされたポロシャツや住宅地図の供給高が大幅減となったこと等により、全体として前年同期比で供給高は減となっております。

本年も様々な事業に取り組めるよう、市の関係部局や互助会との連携をさらに深め、存在意義を高め、いく努力を行ってまいりますので、ご指導とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。



神戸大学生協同組合
専務理事

坂本 安弘

(さかもと・やすひろ)

「コロナを言い訳としない事業・活動」に向けて

新年明けましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスの規制や制限が大きく緩和されました。大学も対面授業が中心となり、多くの組合員がキャンパスに戻って参りました。笑顔と歓喜で溢れるキャンパス。この光景を心から待ち望んでいました。

当生協も活動方針の1つに「コロナを言い訳としない事業・活動の構築」を掲げ、日々の店舗活動を中心にスタッフ一丸となって取り組んでいます。ただ、円安や不安定な社会情勢により、多くの商品や食材の価格が高騰し、組合員への提供価格を改定せざるを得ない状況となってしまいました。安心・安全な商品・食材を、できる限り安価に提供することも一つの使命です。より良いものを少しでも安く。当たり前のことですが、難しい時代になりつつあります。2024年は、大学生協を利用・活用頂くことで、価格以外にどのような価値を組合員に還元できるのかを探求したいと思います。大学キャンパス内にて事業や活動を行う意味をいま一度しっかり考え、胸を張ってキャンパスコミュニティの一員である自負できるように尽力する所存です。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



関西学院大学生協同組合/
大手前大学生協同組合
専務理事

斉藤 和久

(さいとう・かずひさ)

2024年度へ向けて

新年あけましておめでとうございます。旧年中はひとかたならぬご高配にあずかりまして誠にありがとうございました。

関学生協では2024年のテーマを「学生組合員への安定した食事の提供」といたしました。キャンパス内に店舗を構える大学生協の存在意義の一つとして「食」が挙げられると考えています。短い休憩時間の中で皆さんの学生組合員にきちんとした食事を摂っていただけるよう、店内の混雑緩和、内製弁当の製造場所の確保ならびに販売場所の拡充などいくつか課題を掲げています。大学担当者様も「学内の食事情の改善」を最重要課題としていらっしゃいますので、大学と生協とで連携し意思疎通を図りながらこの大きな課題に取り組んでいく所存であります。特に春学期は新入生も加わり、キャンパス内にはたくさんのお客様で賑わうことになりました。多くの学生組合員にキャンパスライフを楽しんでいただき、大学生協の存在意義を感じていただけるよう日々の業務に努めて参ります。

本年も皆様からご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



神戸市外国語大学
消費生活協同組合
専務理事

中尾 太樹

(なかお・たいき)

新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症も終息し、学内はようやく落ち着きを取り戻しました。大学内外で、学生組合員の活動は活発になり、元の形を取り戻しつつあります。

ただ、活発な活動に呼応する組合員からの要望に、大学生協が十分にお答えできているのか、甚だ疑問が残ります。

世界情勢が不安定な中、物価高騰、円安の影響も受け、水光熱費、人件費の上昇、大学生協を取り巻く環境は厳しく、現状維持もままならない状況ですが、組合員への還元へ、力不足にならないようにここが踏ん張りどころだと感じております。

大学で学ぶ大学生にとっても厳しい状況が続いております。

そのような中で、兵庫JCC様、コープこうべ様、兵庫県様からのご支援による、地産地消の「ひょうごまるごと丼」の提供は、今年も大学生への有り難い支援となり、うれしそうに頬張る大学生のたくましい姿に、我々も勇気づけられました。

厳しい状況に置かれている大学生のために、そして大学のために、厳しい状況にある大学生協に何ができるのか、引き続き大きなテーマに取り組みしていく所存です。目先の運営に足を取られる日々が続くなかではありますが、組合員の力を借りながら、この難題に取り組んでいきたいと思っております。

引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



甲南大学生生活協同組合
専務理事

内田 真紀子
(うちだ・まきこ)

二〇二四年を迎えるにあたって

新年あけましておめでとうございます。二〇二三年度は、3年間続いた新型コロナウイルス感染拡大予防の自粛活動から、ようやく抜け出し、今までできなかったことを取り戻すかのように活動を広げた1年でした。新型コロナウイルスの広がりで入学式も行われず、オンライン授業から始まった学生は今年で4年生となり、生協としても何とか彼ら、彼女らに楽しんでもらえるよう活動を行ってまいりました。特徴的な活動は消費者教育活動の一環として神戸市中央卸売市場東部市場と連携し、産地と学生をつなぐ活動として、毎月各地の名産物を使ったメニューの出食、産地とオンラインで繋いだ講演会を行い、料理を活動の主としていたクラブが名産物でメニューを提案するなどの学生応援も行うことができました。

店舗の利用は、授業以外で学内に滞在をする学生はまだ少なく、利用は2019年度より2割減少しています。様々な苦難がありますが、学生を中心とした新学期活動が盛り上がりつつあります。自粛活動の中で自分たちが感じた不安を希望に、ドキドキをワクワクに変えられるようにと前向きに新入生を迎える準備をしている姿に日々、励まされています。大学自体が大きく変革を遂げようとしている中で、生協も「今」の組合員の声をしっかり捉え、共に未来を作っていくために、大学と共に前へ前へと歩みを進めていく所存でございます。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



兵庫県立大学生生活協同組合
専務理事

末松 泰信
(すえまつ・やすのぶ)

2024年を迎えるにあたって

新年あけましておめでとうございます。兵庫県立大学では、生協の利用が感染症前の70%程度にしか達してはおりませんが、学内いたるところで談笑する多くの学生の姿が見られ、キャンペーンの活気を完全に取り戻したと実感しているところです。この差は、必要なときだけキャンペーンに滞留し、必要なものだけ購入する行動スタイルになった、あるいは、物価高によって節約を強いられていると推測されますが、特に体の基礎を作る食事を削ることは、決して良い傾向ではありません。まだまだ苦しい経営状況が続きますが、安心安全・暮らしを守る理念を最優先として邁進してまいります。

もう一つ、メインキャンペーンが5つあるのに、ATMが生協運営の1台だけ、公共料金の支払や行政の証明書発行・証明写真はゼロ、コピー機や飲料自動販売機もコロナ時の台数のままで、人が増えたのに何とインフラの整っていない不便なところだとサービスを提供する側として誠に残念に感じている次第です。是非、魅力のある利便性に富んだキャンパスづくりを目指していきたいと考えています。さて、昨年度も「ひょうごまるごと井(SDGs・地産地消・格安井)」の提供を県内大学生協にて提供するために、多くの団体・行政からご支援いただきましたこと、この場にて御礼申し上げます。どうか、多方面から、引き続きのご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



神戸薬科大学生生活協同組合
専務理事

内田 真紀子
(うちだ・まきこ)

二〇二四年を迎えるにあたって

新年あけましておめでとうございます。二〇二三年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の自粛活動も緩和をしましてまいりましたが、薬剤師になるための国家資格へと学習をつなげていく薬科大学では、大学との協力のもと、夏まで店舗運営時の予防対策を行ってまいりました。その中でも登校をしている学生組合員の日々の楽しみを作るため、新しいメニューやスイーツを導入して店舗でも様々な企画を行い、好評を博しています。また、協同組合連携の中でご支援をいただいています。また、食事の提供は、学生の笑顔を見ることができ、地産地消などの学び、自分の生活する、通うひょうごの良さを改めて知る機会として学生の学びに繋がっています。

本当に有難うございました。二〇二四年度からは、大学の新しい建物や改装された図書館のオープンで学生組合員の動き方が大きく変わる事が予想されます。生協としても薬科大の学生組合員の生活に特化した形での新しい店舗の運営を進める予定です。店舗の利用は、授業以外で学内に残って勉強をする学生数がまだ多くなく、事業として厳しい状況が続いていますが、学生・教職員と生協職員が顔の見える関係となっており、個別にご意見を聞くことができるのが、薬大生協のいいところでもあります。組合員一人一人の声を捉え、必要なことへの対応や期待に応えることで「自分の大学に生協があつて良かった」と感じていただけるよう努力を継続する所存でございます。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ワクワクの発信基地



神戸親和大学
生活協同組合
専務理事

坂本 安弘

(さかもと・やすひろ)

新年明けましておめでとうございます。

昨年の4月に大学が男女共学となり、名称を「神戸親和大学生協」へ変更しました。非常に多くの男子学生が入学され、これまで以上に活気の溢れるキャンパスに生まれ変わりました。お店の利用傾向も変化し、当初は戸惑いもありましたが、組合員の温かい目が変わりなく、日々組合員から元気を頂いています。そして嬉しいことに、学生委員会に2名の男子学生を迎えることができました。コロナ禍では、なかなか活動らしい活動を行うことが叶いませんでした。少しずつではありますが、活動を再開し、組合員と生協の架け橋になって頂ければと、今後の活動に期待しています。

ただ、2021年、2022年の2年間における入学者減の影響は大きく、事業回復はまだまだ道半ばと言わざるを得ないです。

男女共学の2年目となる2024年は、さらに組合員のニーズを拾う取り組み（特に男子学生）に力を入れたいと考えています。18歳人口のさらなる減少。不透明感を増す社会情勢。暗いニュースが多いです。2024年は、組合員に少しでもワクワクして頂けるような何かお届けできればと考えています。引き続き、皆様のご支援を何卒よろしくお願ひ致します。

2024年を迎えて



園田学園女子大学
生活協同組合
専務理事

大西 範和

(おおにし・のりかず)

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ対策も大きく緩和され、数年ぶりにキャンパスにも活気ももどってきました。制限を気にせず楽しそうにキャンパスライフを送る学生組合員を見ると、こちらもうれしくなり、徐々に忙しくなるスタッフの励みになりました。

また、オープンキャンパスや通常開催となった大挙祭などにも積極的に参加し、大学を盛り上げるお手伝いをしました。他にショップ店舗では、少しずつレイアウトや店舗サインの変更を行い「きれいななった」「広くなったように感じる」などのお声をいただけるようになりました。

一方では、食材や物流費など物価高騰により、メニューや商品の値上げを行わざるを得ない状況にもなりました。学生組合員をサポートする大生協としては不本意な流れとなっています。

本年はさらに活気づくであろうキャンパスに負けないようスタッフ一丸となり、生協主催イベントの復活などに向け、取り組んでいきたいと考えています。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

2024年を迎えて



甲南女子大学生生活協同組合
専務理事

金保 吉郎

(かなほ・よしろう)

新年あけましておめでとうございます。

2020年度から続いている新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、授業も後期からオンライン授業から対面授業に移行され、キャンパスに活気が戻ってまいりました。学生が戻ってきたことにより、生協の利用、特に食に関する事業、食堂や購買の利用が増え、コロナ前の8割程度の客数まで戻ってきています。引き続き、店舗での企画を行い、学生組合員にキャンパスライフを楽しく過ごしていただくための企画を考えていきます。

新たな事業としましては2024年4月から大学にカフェがオープンいたします。その運営を生協が行うことになりましたので、現在オープンに向けて準備を行っています。学生組合員の憩いの場所になるように運営をしていきたいと考えています。

2024年もしっかりと組合員目線で生協の事業を行い、学生組合員をサポートしていきたいと思ひます。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



神戸市立工業高等専門学校
生活協同組合
専務理事

小森田 敏
(こもりた・さとし)

2024年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

2023年度の学生生活はコロナ禍前と同じぐらい活気に溢れる年となりました。規模を縮小して行っていた学校行事も元通りとなり、高専祭では一般のお客様もご招待できるようになりました。

生協の事業としましては、コロナ禍前の業績には追いついていないものの、9割ほど回復してきました。しかし食堂・購買事業どちらも円安の影響や原材料の高騰を受け値上げが止まりません。限られたお金でやりくりしている学生に対してとても心苦しく思っております。少しでも学生に楽しんでもらいつつ店舗をご利用いただくために、生協同好会のメンバーが企画を立案し、商品の値引き企画を行いました。学生からは大変好評である商品は普段の5倍の個数を売り上げるなど店舗の利用促進に繋がりました。

厳しい状況ではありますが、本校の組合員に寄り添っていただけるよう、勉強面でも生活面でもサポートを続けていければと考えております。そのために職員と力を合わせて尽力してまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



生活協同組合連合会
大学生協事業連合
常務理事(関西北陸地区担当)

野尻 郁智
(のじり・ふみとも)

新年を迎え、新しいチャレンジを スタートしたいと考えております

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

兵庫県生活協同組合連合会の会員生協の皆様におかれましては、弊会の諸活動にご協力いただきましてありがとうございます。また大学生支援活動においては多大なご尽力をいただきましたことにあためて御礼申し上げます。

コロナによる厳しい制限の時代から5類への引き下げにより、あつという間にコロナ前の日常に戻った部分と、コロナ以降の状態が日常となつてしまつた部分が、鮮明になつた令和5年だったのではないかと考えています。大学キャンパスでは、正課の講義は原則対面に戻り昼食時には多くの学生の利用で賑わう風景が戻りました。一方、オンライン講義は効果の高いものは併用され、夕方以降の部活サークルなどの課外活動は戻らず閑散するキャンパスなど、いわゆるキャンパスのニューノーマルが定着しつつあります。

皆様と同様に、私たち大学生協の取り巻く環境は厳しく、労働者の確保・労働単価の上昇、物価上昇などが経営を圧迫し経営構造改革の終わりが見えない状況です。令和6年からは大学生協事業連合第2期中期計画を執行し、新しいチャレンジを進めたいと思っております。「学生・教職員にとってなくてはならない事業領域」については事業構造の強固な柱にさらに成長させ、「大学のパートナーとしての事業領域」は探索事業として開発を強化する、そういった経営の視野で臨むことが大事だと考えています。大学生協からも学生・大学に積極的に提案していくことが求められている時代であり、私たち自身が持続可能な組織として揺るぎない存在となるために、行動をしなければならぬと感じています。

皆様にとりまして、この新しい年がより豊かな年でありますよう心から祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。



神戸医療生活協同組合
理事長

道上 哲也
(みちがみ・てつや)

新しい年を迎えて

新年おめでとうございます。

昨年は対面での交流が可能となり、さまざまなお楽しみがおこなわれました。事業所の周年事業にもとりくみ、事業所開設時からの歴史と役割をふり返りながら、これからの歩みをすすめていく機会となりました。ますます複雑さを増す政治、社会、医療情勢のなかで、わたしたちの果たすべき役割を考えていくことが大切です。特に、平和の問題では、「どこで争いがあつた」ということではなく、「戦争をやめるために何が必要なか」を、わたしたちみんな考えて、身近なところから声をあげ、行動することが必要です。

わたしたちの課題はたくさんありますが、健康に留意しながら、組合員・職員が協同し、次の一歩を踏み出す年にしたいと考えています。

最後になりますが、本年が皆様にとって充実した、よい年であることを祈念し、新年のご挨拶とします。今年もよろしくお願ひします。



尼崎医療生活協同組合
専務理事

瀬井 宏幸
(せい・ひろゆき)

協同組合間連携を強め、 共に発展していく年に

イスラエルのガザへの軍事侵攻は、12月時点で16,000人を超え、ジェノサイドとも言えるような事態となっています。このようなことが起こっている中で、とても新年を祝うような気分にはなれないという方も多いのではないのでしょうか。世界各地で停戦を求める声や運動が広がっています。尼崎医療生協でもスタンディングや募金活動に取り組んでいます。2年目を迎えるロシアのウクライナ侵攻も含め、一日でも早く停戦、終戦となるよう行動していきたいと思えます。

気候変動の危機も深刻です。次年度予算を考える上で気候変動による影響も考えなければならぬ時代に入ってきているような気もしています。一人ひとりがCO₂削減の努力を行うだけでなく現代の過剰・余剰生産を前提とした経済活動そのものを見直し、脱成長へ舵を切らなければ間に合わないのではないのでしょうか。

これらの一方で、協同組合が、国連の2030年アジェンダへ明記され、ユネスコ無形文化遺産へ登録されるなど、協同組合への評価と期待は高まっています。私たち尼崎医療生協も、心強い仲間が存在を勇気に、協同組合の一員として、平和、環境問題にあたっていく年にすることを今年の抱負とさせていただきます。



阪神医療生活協同組合
専務理事

蓮見 克也
(はすみ・かつや)

協同運営という 仕組みの強化を目指して

明けましておめでとうございます。今年も皆様と無事に新年を迎えられた事を感謝します。

新型コロナウイルスの厳戒態勢という社会状況から、何も解決していませんが、日常を取り戻す社会に変化きております。

法人としても、社会情勢に沿いながらも、感染予防をしながら、取り組みを進めていきます。

さて、今年も事業が厳しいこともあり、改めて地域組合員に必要な事業は何なのか、また生協らしいサービスって何なのかを、職員と組合員で話し合いながら、事業の行く末を決めていく年にしたいと思っております。

次年度総代会にて生協らしいサービスの確認と取り組みの強化を図りながら、何かが決まった後に、「聞いてない」「知らなかった」を無くす取り組みとし、また阪神医療生協は道に迷った時に、指針になる仕組みに出来たらとも考えております。

こんな時代だからこそ、サービス競争に勝つためではなく、根源的な取り組みにしていきたいと思っています。

本年もよろしくお願い致します。



宝塚医療生活協同組合
理事長

茅野 涼一
(かやの・りょういち)

世界平和を希求できる年に

明けましておめでとうございます。

政府は、コロナ禍が収まったとして、感染症法上の取り扱いを5類に引き下げましたが、医療関係者は、決して安心できる状況ではないと思っています。統計上も指定病院の一日当たりの受診者を発表していますが、各都道府県の感染者数を集計していません。国民は危機感を持っていないかと思えます。同時に、心に重く感じているのは平和のことです。一昨年は、ロシアのウクライナ侵攻という侵略戦争がはじまり、ウクライナ国民の多数が犠牲になっていきます。今年、ハマスによるイスラエル攻撃と人質の拉致に端を発した、ガザ地域への無差別攻撃は国連憲章違反です。避難地域や病院への攻撃で、子ども、特に赤ちゃんの生命維持が困難な状況を作り出し、人道危機が叫ばれ世界を震かしています。

私たち、「いのちの平等、無差別診療」をめざして日夜奮闘している法人として、何としてもイスラエルの無差別攻撃をやめさせ、まず停戦して話し合いでの解決を、一刻も早く実現して欲しいと切に願わずにはいられません。

新年早々からこのような思いをしなければならぬ状況は、今年で最後にして欲しいものです。世界平和と生協組合員、職員の皆さま、そして、日本の国民の幸多かれと祈願してあいさつと致します。



姫路医療生活協同組合
専務理事

黒岩 勝博
(くろいわ・かつひろ)

組合員と職員の協同を

さらにひろげて…

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、共立病院の建て替えリニューアルをおこない、12月18日に新病院をオープンすることができました。共立病院の建設運動は、2022年5月に組合員と職員による新病院建設委員会を立ち上げ、毎月、建設委員会を開催し、具体化をすすめてきました。組合員による駐車場案内ボランティアや組合員増やし・出資金増やしの推進、新病院の情報発信、生協マルシェでの新病院アピール、建設現場見学ツアーなど、創意工夫し、組合員と職員の協同の力で建設運動をすすめました。12月5日に開催した組合員・地域住民向けの新病院「内覧会」には240名参加いただき、新病院の完成をともに喜び合いました。

今年も、2023年度に導入した生協10の基本ケア（以下「10ケア」）を本格的な実践につなげる1年にしたいと思います。10ケアは「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅生活を支援」することを大切にしています。10ケアを組合員と職員の「合言葉」に協同をひろげ、ぐくらしの安心ネットワークづくりにつなげます。姫路医療生協ブランドのケアを創造し、多くの利用者様に喜んでいただけるサービス提供をお願いします。

本年もよろしくお願いたします。



ろっこう医療生活協同組合
理事長

小西 達也
(こにし・たつや)

本部や小規模多機能などを 統合した新施設

あけましておめでとうございます。

灘区の2号線沿いにあった小規模多機能「とががわ」の移転に伴い、ヘルパーステーション、訪問看護、リハビリテーション部、および本部を新施設に統合することになりました。新施設は、今秋、灘区中原通に完成予定で、小規模多機能が最初に移転し、年内には、すべての事業所が移転いたします。医療福祉生協の活動は健康長寿を一つの目標としており、健康寿命は年々延伸しています。しかし、多くの要介護者がおられることも事実です。

私は学生時代に、当時の灘医療生協（現在のろっこう医療生協）が実施していた地域医療体験に参加し、その時に、姫路医療生協が実施している訪問診療と訪問看護を見学させていただき、非常に感銘を受けました。要介護状態になったから不幸なのではなく、サポートがない状態が不幸だと学びました。当時は介護保険制度もなく、半ばボランティア活動としての、往診と訪問看護であったように記憶していますが、地域医療を支える医師になろうという大きなインパクトになりました。阪神の岡田監督が口にしたアレは世間の注目を集め、球団はAREというスローガンを打ち出しました。目的（Aim）に向かって、先人への尊敬（Respect）を忘れず、個々人が、さらにパワーアップ（Empower）すること、と球団のホームページに記載されています。そして、リーグ優勝というアレだけでなく、日本一というアレも実現されました。岡田監督が力を入れたことは、守備練習を徹底してエラを減らすこと、ボールの手を出さず四球での出塁を増やすこと、という基本的なことだったそうです。わたしたちのアレは「健康なまちづくり」です。私たちも基本的なことを大切にすることのスタイルをしっかり確認しあって、アレに向かって頑張りましょう。皆様方にも良い1年となりますように心より祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



たじま医療生活協同組合
専務理事

松本 幹雄
(まつもと・みきお)

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に変更されたことを受け、3年余り中止・縮小を余儀なくされてきた様々な事業等が再び大きく動き出した年となりました。

中でも健康まつりでは、コロナ禍前を上回るたくさんの方が集い、久々の交流を楽しみました。組合員や職員、協力団体による地元野菜や加工品などの販売、金魚すくい、健康チェックなど多くのブラスバンド演奏や生バンドカラオケなどが繰り広げられ、エイサーでは多くの観客が輪を作って一緒に踊り、会場は大いに盛り上がりました。長年の鬱積した思いが、一気に発散された1日でした。

コロナ流行後に入職した職員にとっては、地域の組合員などと一緒に企画し交流する初めての機会となりました。「いのちの章典」では、「ともに組合員として生協を担う住民と職員の協同によって、問題を解決するための事業と運動を行います」と謳われていますが、協同の重要性を改めて認識、実感させてくれました。

組織・経営課題は山積していますが、本年は組合員と職員の協同により法人が更なる発展を遂げることを祈念しています。



ひまわり医療生活協同組合
理事長

三橋 徹
(みつはし・とおる)

健康クラブ、新経絡ひまわり会 (ツボ押し会) を再開しました

新年を迎え、貴生協の活動にあらためて感謝と敬意を表します。
昨年本生協では、組合員さんの健康クラブで休止していた新経絡ひまわり会(ツボ押し会)が再開されました。

新経絡とは手足のツボを順番に押す治療法で、睡眠障害や軽度外傷性脳損傷、帯状疱疹後神経痛などの難治性疼痛にも有効です。肺炎が軽減した方もおられ、昨年からは開始したコロナ後遺症外来でも主な治療法として役立ちました。

押し棒や指で押すだけなので、プロの治療家から患者さんまで覚えればできるのが特徴です。今シリーズのツボ押し会は、有効なツボを実際に押すことができる人を育てることを目標に、月の第2・第4日曜日の午後1時から40分間程度、方法の説明とお互いに押し合う実技を入れて楽しく行っています。

そして本会の夢は、この方法が世界中に広まることです。薬も電気も機械もいらない治療なので、貧しい国でも戦禍の中でも行えると考えるからです。興味のある方、参加してみたい方は、どうぞご連絡下さい。



神戸市民生活協同組合
専務理事

岡田 健二
(おかだ・けんじ)

笑顔あふれる年に

新年あけましておめでとございます。
本年も何卒よろしく願い申しあげます。
昨年5月より制約のない日常生活が徐々に取り戻され、当組合でも共済・保険相談会や組合員向けイベント等を再開いたしました。コロナ禍で人と人とのつながりが希薄になっていましたが、直接お会いすることにより、組合員の方々の声や笑顔にふれることができ、改めてその大切さを感じるようになりました。

また昨年は、阪神タイガース、オリックスバファローズのリーグ優勝、さらにヴィッセル神戸のJ1リーグ初優勝などスポーツで地元兵庫が大いに盛り上がりました。選手の方々から、私達に勇気や感動そして笑顔を頂き、その素晴らしいさを感じる年でもありました。今年も各スポーツにおける地元チーム・選手の活躍を期待し、応援していきたいと思えます。
コロナは未だ終末しておらず、インフルエンザも猛威をふるうなか、安心できる日常生活を取り戻す環境には至っておりませんが、そんな今だからこそ人と人とのつながりを大切に、地域密着型の組合の強みを活かして、組合員の方々に寄り添い、少しでも笑顔につながる活動に職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

「笑門来福」!どうか皆様は笑顔あふれる年になりますことを願っております。



尼崎市民共済
生活協同組合
理事長

河本 博志
(かわもと・ひろし)

想念は具現化する

新年あけましておめでとございます。
昨年は、国外ではロシアとウクライナの戦闘が続く中、10月にはイスラエルでハマスによる市民の虐殺や拉致行為等のテロが発生し、ガザ地域での戦闘が開始されています。

一方、国内に於いてはWBCの優勝や大谷選手の活躍、阪神タイガースの38年振りの日本シリーズ優勝とスポーツで盛り上がる事ができました。平和で平穏な日々が、如何に大切であるかを再認識した年でもありました。

また、ヴィッセル神戸が、29年目に地元ノエビアスタジアム神戸でJ1初制覇を果たしました。
30年前のJリーグ発足時、日本サッカーリーグで活躍していたヤンマーの拠点は尼崎にあり、プロサッカーチームの本拠地となる可能性があったにもかかわらず、地元のJリーグチームは誕生しませんでした。その一方で、日本サッカー発祥の地である神戸にはJリーグチームは無かったのですが、市民と関係者の活動により、1年後にチーム誘致が実現しました。チャンスがあったのに地元チームがない尼崎と、チーム誘致への強い「想い」が実った神戸との違いを感じています。

尼崎市民共済は、令和7年には大きな節目となる70周年を迎えます。組合員等の減少傾向が続く状況ではありますが、「想念は具現化する」という信念のもと、職員と共に地域に根差した共済組合の運営に努めていく決意を新たにしているところでです。
今年も、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

龍の如く猛々しく

姫路市民共済生活協同組合
理事長

柏原 浩明

(かしはら・ひろあき)

新年あけましておめでとうございます。

2023年 日本の夏は記録的な酷暑となったほか、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行しました。

野球界ではWBCで日本が3大会ぶりに世界一に、そして阪神が38年ぶりの日本一に、大谷翔平選手が大リーグで日本人初のホームラン王に、そして将棋界では、藤井聡太棋士が史上初の八冠を達成するなど、明るいニュースもありました。

その一方で、ジャーニー氏の性加害問題、女性自衛官への性暴力などの性被害、そして宝塚歌劇団のパワハラなど、考えさせられた一年でもありました。

世界では、イスラエルとハマスの戦闘、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、戦争も続いています。

辰年は時代を動かす「変革（転機）」や「激動」であることから、姫路市民共済では、コロナ禍の生活様式の変化をチャンスとしてとらえ、将来への継続と発展につながるweb化、IT化を龍の如く猛々しく積極的に、そして新たな商品も取り扱うなど組合員に寄り添った事業も推進してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様とご家族が健康であること、そして実り多き一年になりますことを祈念して、年頭の抱負とさせていただきます。

昇り龍

西宮市民共済生活協同組合
常務理事兼事務局長

坂本 健治

(さかもと・けんじ)

新年あけましておめでとうございます。

昨年、5月までの3年余りは、新型コロナウイルスにみながいろんな意味で振り回されていますが、徐々に平穏を取り戻しつつも、コロナ前には戻っていないような気がします。

世界に目を向けますと、紛争にたくさんの方が巻き込まれ、尊い命を落とした人も少なくありません。一日も早い平和が訪れるよう願うことしかできません。

そんな昨年ですが、WBCで日本代表チームが優勝し、関西のプロスポーツも私たちに元気をくれた1年でした。西宮市に本拠地がある、ご存じ阪神タイガースが38年ぶりに日本一に輝き、リーグ優勝したオリックスバファローズは1988年まで西宮市で阪急ブレーブスとして活躍した球団でした。また、Jリーグ発足後、初の優勝を飾ったのも神戸市に本拠地があるヴィッセル神戸です。

観測史上最も暑かったといわれる夏もありましたが、新型コロナウイルスに苦しめられた3年余りを吹き飛ばすような盛り上がり、一喜一憂し、元気をたくさんもらったように感じます。

昨年ももらった元気を今年につなげ、私たち共済の輪が干支の龍のように上へ上へと昇りながら広がっていきけるよう、職員一同努力してまいります。

2024年を迎えて

兵庫労働共済生活協同組合
専務理事

矢田 哲也

(やだ・てつや)

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはご家族ともども健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は振り返りますと私たちが取り巻く環境は、コロナ禍からの社会活動の正常化が進む中、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの紛争は長期化・混迷の様相を呈し、また、最近では地球沸騰化といわれる気候変動を背景に、大型化・多発化する自然災害の発生等により、先行きの不透明感・不安定感はますます強くなっております。

このような時こそ、私ども兵庫労働共済生活協同組合（こくみん共済coop全労済）は、たすけあいの共済を通じて働く人々の「くらしの安全と安心」を追求してまいります。

万一の災害や事故の際に「不幸な組合員を出さない」を合言葉に「みんなですすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念実現に向け、取り組んでまいります。日常に潜むリスクや大規模災害から組合員の暮らしを守るため、「もしもに備える保障設計の取り組み」や「これからの防災・減災運動」等を展開することで、弊会が創立以来取り組んできた共済の普及と社会課題の解決に取り組み、理念である「みんなですすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめる、「誰一人取り残さない社会づくり」をめざすSDGsの達成に貢献して参ります。とも（共）にたすけ（済）あうという「共済」の本質と「相互扶助」の精神は、どのような情勢・時代においても変わることはない普遍的な価値観であると確信し、関係諸団体や組合員の皆さまとともに、歩みをすすめて参りたいと存じます。今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



近畿労働金庫兵庫地区本部
本部長

清宮 豊
(せいみや・ゆたか)

生活応援運動の拡大と金融DXへの挑戦で、
ろうきんの役割を発揮してまいります

新年明けましておめでとうございます。
現在の私たちを取り巻く状況は、ロシアのウクライナ侵攻、中東での紛争等の影響もあり、更なる物価上昇をもたらすインフレ懸念が高まっています。この様な状況下、お金に関する「不安」や「課題」は尽きない事から、当金庫では『生活応援運動2023』に取り組んでいます。

具体的には、高金利ローンの実態を伝えるセミナーや、他行の高金利ローンからの借換えにて可処分所得を増やす運動、新制度もあって認知度が高まっているNISAやiDeCoのセミナー、個別相談会の開催など資産形成に繋がる運動を行っています。更に、今年の4月からは第9次中期経営計画をスタートし、「生活応援運動の拡大」と「金融DXへの挑戦」の2つを掲げ、重点的に取り組めます。

生活応援運動の拡大としては、皆様の生協との連携による利用拡大に向けた協働や、共生社会への寄与などを掲げ取り組めます。また、金融DXへの挑戦では、更なる取引・手続きのデジタル移行や、WEB申込み限定特典等の商品・サービス向上を掲げ取り組めます。

これらの取組みを通じ、「はたらく仲間を支える助け合いの金融を実践し、誰もが安心して生活できる社会づくりに貢献する」金融機関として、役割を発揮したいと考えます。

引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年度 兵庫県生協連 第4回理事会報告

【開催日時】 2023年12月4日(月) 13:55～15:38

【開催会場】 兵庫県民会館 7階「鶴」

【出席者】 岩山会長理事、末松副会長理事、江見専務理事、若生、中野、小谷、松永、森本、岡田、清宮（以上、理事）
矢田（オブザーバー）瀬井、多村、柏原（以上、監事）

〈議決事項〉

1. 2024年新春トップセミナー・賀詞交換会の実施について

〈協議事項〉

1. 2024年度の重点方針・重点課題（素案）について

〈報告事項〉

1. 分野別生協・団体（出席理事、監事）からの状況報告
2. 2023年度上期活動報告
3. 2023年度上期収支状況・監事監査実施報告
4. ひょうごまるごと健康チャレンジ進捗報告
5. その他報告
7. 12月初旬までの兵庫県生協連行事・諸活動報告（10/2～12/4分）

JF

JF 兵庫漁連

淡路水交会 「漁業者による森づくり活動」開催 ～淡路島内漁業者ら110名が ウバメガシを植樹～

一般社団法人淡路水交会（東根 壽会長）が主催する「漁業者による森づくり活動」が11月7日（火）、淡路市の山林で行われ、ウバメガシ600本を植樹しました。

この活動は、漁業者がウバメガシや間伐材を使った“柴漬け”による産卵床の設置によりアオリイカなどの水産資源の増大を図る活動と、一般県民と力をあわせた漁業者による森づくり活動を連携して行い、環境保全と地域貢献を図るもので、今回で15回目となります。

当日は島内 JF 役職員、漁青連のほか、行政や系統団体、さらに淡路市立津名東小学校3年生児童26人を加えた110名が参加しました。同会 東根会長、津名東小学校教頭先生の挨拶の後、参加者らは、苗木と土嚢に入った土を次々に運び込み、用意した苗木を植樹しました。

児童らは、県洲本農林水産振興事務所担当者からレジュメ（タイトル：水産教室）に基づいて説明を受け、海の栄養の大切さ、森・川・海の関係、兵庫県が目指す「豊かな海」について学習しました。説明の際に、「昔の兵庫県の海は今よりもっと茶色っぽい海でした、なぜかな」という質問に対して、参加した児童からは、「海の栄養が多いから」などの回答もありました。

豊かな海の再生に向けて、また、アオリイカ増殖に繋がる「森づくり」事業は、今後も淡路の各地で展開されていきます。



植樹活動の様子



東根会長挨拶の様子

JA

JA 丹波ひかみ

こだわりの方法で栽培した 丹波大納言小豆を次世代につなぐ

400年以上前から栽培される丹波大納言小豆を途絶えさせないため、蘆田圭介さんは、親子で栽培に取り組んでいます。

丹波大納言小豆は、湿気が多い地面に実が触れると病気にかかりやすいため、ほ場全体を緩やかな傾斜になるように耕し、効率よく排水しています。また、幹が倒れないように畝の周りにロープを張り、病気を予防する工夫も施しています。この手法は、約5年間の研究を経て蘆田さんが考案したものであり、大きな手間と労力がかかりますが病気を予防する効果が大きく、実に光が多く入り色付きが良くなるといった利点もあります。JA 丹波ひかみ営農経済部営農振興課山本優治さんは、「蘆田さんは、収穫量の安定を図るため労力を惜しまれません」と話します。

また、蘆田さんは直売所出荷者で構成される「野菜づくり3アール運動部会」の会長を務めています。部会の活動は、外部講師を招いて講習会を開催し部会全体のスキルアップを図ったり、直売所で旬の野菜が当たる抽選会を開催するなど多岐にわたります。

今後も、蘆田さんは手間と労力を惜しまないこだわりの栽培方法により高品質な丹波大納言小豆栽培を続けていきます。また、部会員への講習会の実施や直売所でのイベント等を通して、よりお客様に満足いただける直売所を目指します。





消費者トラブルお断りボイスドラマ

公開中!

お断りスキルを身につけたら トラブル回避してた

若い世代に向けて、消費者トラブルに遭ったときの「断り方」を考え学ぶことができる、消費者トラブルお断りボイスドラマ「18歳になったら成人してた件—お断りスキルを身につけたら、トラブル回避してた—」を公開中です。

令和4年度の兵庫県内の消費生活相談状況では、令和4年4月で成人となった18歳、19歳の相談件数は前年度から増加、「エステ」「出会い系サイト」「内職・副業」等で平均の契約購入金額も増加しており、若い世代への消費者トラブルが拡大しています。

〈甘い誘いを、あなたならどう断る!?〉

令和4年度公開の消費者トラブル回避シミュレーションゲームの第2弾。今回も、成人を迎えたばかりの18歳の田真玲 爽（だまされ・そう）と田真玲 瑠奈（だまされ・るな）が主人公。ゲームに引き続き、人気の声優を起用しています。

ボイスドラマは「マルチ商法」「エステ体験」「副業」「お試し購入」「水道修理」「マッチングアプリ」の6つのストーリーを設定。プレイヤー自身が消費者トラブルを回避する「お断りフレーズ」を考えます。

ルーレットを回して「お断りフレーズ」を選択することもできます。人気声優の音声付きのスペシャルフレーズが聴けるかも。

〈ボイスドラマはこちらから〉

https://web.pref.hyogo.lg.jp/syouhi2023_lp/



※人気声優による音源が聴けるのは、令和6年3月まで。

怪しいと感じたり、困ったときは相談!



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、新年あけましておめでとうございます。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

お正月はいかがが過ぎでしたでしょうか。今年一年、みなさまのご健康とご多幸をお祈りしております。

ここ何ヶ月も靈感商法のお話で「不当寄附勧誘防止法」についてお話してきました。今回は、寄附した人やその家族の救済のことをご紹介したいと思います。寄附の勧誘を行う法人には「不当な寄附勧誘行為の禁止」が義務付けられています。たとえば「帰ってほしいと伝えても帰ってくれず」寄附を迫るような勧誘方法です。このような禁止された不当な勧誘方法で寄附の勧誘を受けた人が「困ったり、戸惑ったり、どうしてよいかわからなくなるような状況」になって、寄附をしてしまった場合、その寄附の意思表示を取り消すことができます。さらに、寄附した本人が寄附の取消しを行わない場合でも、寄附者に扶養されている配偶者や子どもは、婚姻費用や養育費などの権利保全のために必要な場合であれば、寄附した本人に代わって、取消権を行使することができます。婚姻費用というのがイメージわきにくいかもしれませんが。簡単に言うと、夫婦と子どもが共同生活を行う上で必要な一切の費用で、衣食住の費用のほか、教育費や医療費なども含まれます。寄附した本人が、家族のためのお金まで寄附してしまい、家庭崩壊しまうような被害もありました。そのため、このような権利が規定されています。今回は、まとめのお話をしたいと思います。



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

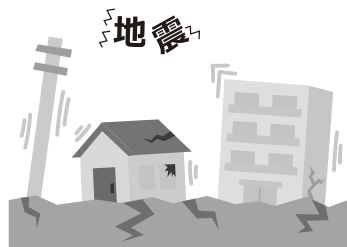
MOVE

自然災害で被災した住まいの再建に備えて一兵庫県が実施する安心の制度一

兵庫県住宅再建共済制度 【フェニックス共済】



阪神淡路大震災を経験した兵庫県が実施する安心の制度、フェニックス共済はあらゆる自然災害で被災した時の住宅の再建をバックアップ!



県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に	住宅再建共済にご加入の方に	県内の住宅にお住まいの方に
住宅再建共済	準半壊特約	家財再建共済
年額5,000円で 再建・補修時等に 最大600万円給付	プラス 年額500円で 補修時等に 最大25万円給付	単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に 最大50万円給付
※ 半壊以上（損害割合 20%以上）	※ 損害割合 10%以上 20%未満	※ 床上浸水又は半壊以上

※住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

あわせて備えて
もっと安心!

フェニックス共済 + 他の共済 地震保険

フェニックス共済は単独でも加入できますが、他の共済や地震保険とあわせて加入ができます。

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで!

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金



兵庫県



コールセンター（平日 9:00～17:00）

078-371-1000



フェニックス共済

検索

* 加入申込書をダウンロードできます。
* クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が可能です。

県連行事予定

- 1月5日(金) 新春トップセミナー・賀詞交換会 (湊川神社 楠公会館)
- 1月19日(金) 第3回 大学生協部会 (県民会館302)
- 1月22日(月) 監事と代表理事懇談会 (県民会館302)
- 1月23日(火) 税務・経理講習会 (県民会館901/オンライン併用)
- 1月31日(水) 第5回 生協活動委員会 (県民会館1101)

編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆さまにおかれましては、良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年の干支は甲辰（きのえたつ）です。動物にあてはめると竜（龍）ですが、竜は十二支で唯一の想像上の動物です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので活力旺盛になって草木もよく成長し、形が整う年とのこと。今も世界のどこかで紛争が続いていますが、本年一年が温かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、平和と希望に満ちた年になることを祈念しております。今年最初の「兵協連だより」をお届けいたします。新年特集は会員生協・団体の皆さまの「2024年今年の抱負」です。ご執筆にご協力いただいた皆さま、ありがとうございます。皆さまと会話がなる誌面作りに努めてまいります。本年も「兵協連だより」をどうぞよろしく願っています。

（吉本）